



五感まるごと能登づくし実行委員会  
数馬嘉雄 委員長

能登の食材をどう生かすか  
知恵を出し合いたい。

日本海に面し、豊かな自然が残る能登町は食材の宝庫。「五感まるごと能登づくし」は、年間を通じて能登町の食材をアピールし、人を呼び込む新たな仕組みづくり。実行委員長の数馬嘉雄さんに意気込みを聞いた。

本年度から、能登半島地震復興基金の補助事業などを申請し、「五感まるごと能登づくし」を実行することになりました。能登町の食材を皆さんに知ってもらって、食べに来てもらう、買いに来てもらうことで町を元気にすることが目的です。

春はイチゴ、夏はブルーベリー、秋はキノコ、冬は寒ぶりという四季の食材と、能登牛や地酒、地ビール、イカなどの年間を通して食材を組み合わせた。さらにキリコやアエノコトといった伝統文化を組み合わせることで、一年を通じて能登町をまるごと楽しんでもらいたいと考えています。

これまで観光協会や商工会などが、それぞれ食のイベントを行っていました。「五感まるごと」では、これまでやってきたイベントを年間通したものとしてトータルで考え、それぞれのイベントを応援したり肉付けをしていきます。

一緒にやってやることで、これまでお互いがイベントを実施してきたノウハウや情報が共有できます。それによって、新たなアイデアが生まれることも期待できます。

旅行会社とタイアップした観光バス誘致や能登杜氏を交えた語り部による食談義など、食と文化を楽しむ機会も提供したいと考えています。

この事業は5カ年計画ですが、補助率は徐々に減っていきます。補助金が減ったときに、各店舗の売り上げから経費を補える自立したイベントとなることか、この1、2年が勝負です。

食材の提供には、生産者の皆さんの力が不可欠です。この実行委員会の活動を通じて、生産者の皆さんへ感謝するとともに、生産率向上により後継者の育成に発展できるきっかけになりなれと思います。

能登町のすぐれた食材をどう生かすか。来てくれた人々に喜んでもらえるか。実行委員会をはじめ、生産者、商品開発者の皆さんらと共に知恵を出し合いたいと思います。

【通年食材】地酒・地ビール・能登牛・イカ



イチゴミルクが無料で振る舞われた苺一会

## 苺一会 (5月22・23日)

「観光イチゴ園」として、50年近くにぎわいを見せてきた赤崎地区。太陽で真っ赤に熟し、糖度の増したイチゴを畑で摘み取ってもらう。イベント前後の期間は町内菓子製造業者、宿泊施設などと連携し、赤崎イチゴを使ったお菓子やデザートを提供。能登空港や道の駅などでも赤崎イチゴ関連商品を提供した。



## キリコと灯りの祭典 (8月下旬)

能登町はブルーベリーの産地。摘み取り体験やブルーベリーワイン工場見学のほか、ブルーベリーを使った新たな商品開発も行う。期間中はのぼり旗を掲げた町内各所でブルーベリー関連商品を提供する。同時に能登各地のキリコ祭りや郷土芸能も広く紹介していく。



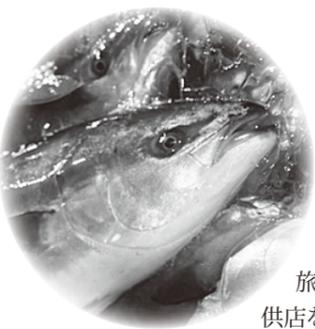
## きのこ祭り (10月中旬)

能登町は秋の味覚の王様キノコも豊富に採れる。多種にわたる食用キノコの品評会を開催しながら、キノコ料理各種を紹介する。併せて能登牛のブランド化とPRを目指して能登牛料理を提供するお店や宿を大々的にアピールする。



## 寒ぶり祭り (1月中旬)

冬の能登を代表する「寒ぶり」の即売を中心に、採れたての鮮魚販売や魚さばき体験なども開催。同時に「能登杜氏の里」の取り組みとして魚に合うお酒を味わってもらったり、酒蔵見学なども取り入れる。旅行会社と連携し観光客の誘客を図ったり、提供店を募り寒ぶり料理を提供していく。



# SEASON EVENT

能登町の四季を代表する季節食材と通年食材を組み合わせ、既存のイベントをパワーアップ。

春  
イチゴ

夏  
ブルーベリー

秋  
キノコ

冬  
寒ぶり



# 食育 のススメ

6月は食育月間  
毎月19日は「食育の日」です。  
能登町は食育を推進しています。

能登町健康福祉課健康推進係 ☎ 72-2504

## 能登町食育推進計画を策定しました

平成22年3月に「能登町食育推進計画」を策定しました。計画では3つの基本目標と一人一人が実践すべき7つの食育行動目標を掲げています。

今後、この計画に沿って家庭・保育所（園）・学校・地域などが連携して食育の推進に努め、子どもの健やかな成長と生涯にわたる健康で心豊かな暮らしの実現を目指していきます。

食育推進の担い手は町民の皆さん一人一人です。それぞれが主体的に楽しく参加できる食育の取り組みを展開し、町を挙げて豊かな食を育む地域づくりを進めましょう。

### 食育推進の基本理念

『能登町の「豊かな食」で育もう 健やかな体と豊かな心・家族の絆・人と地域のつながり〜ふるさとを誇りに思える子どもに〜』

### 3つの基本目標

基本目標① 健やかな心と体を育む健全な食生活の実践を進めます。―家庭・保育所・学校・地域などで、全ての年代において健全な食生活の実践を進めます。特に未来を担う子どもの健やかな体と豊かな心をはぐくみます。

基本目標② 豊かな食の理解と継承を進めます。―さまざまな食の体験ができる環境を生かし、能登町の特徴ある食の理解と継承を進め、ふるさとを懐かしく誇りに思う気持ちを育みます。

基本目標③ 豊かな食を育む地域づくりを進めます。―食育を推進する人材の育成や連携、食を通じた人と人・地域の交流や家族の絆を深め、健康で心豊かな食生活が可能な地域づくりを進めます。

### 7つの食育推進行動目標

- ① 食を選択する力を育む
- ② 楽しく食べる環境を整える
- ③ 食を通じた交流の機会を増やす
- ④ 食の理解を深め食の継承を進める
- ⑤ 心に残る食体験の機会を増やす
- ⑥ 地産地消を進める
- ⑦ 食育推進の環境づくりを進める

### 活動情報をお寄せください

町では、食育の情報を集め広く町民に紹介していきます。食育に関する地域での活動、ボランティアの皆さんによる推進活動などがありましたら、情報をお寄せください。

## 19日は「能登町 家族団らん食育の日」

家族団らんの時間は意識して作り出す時代に

国は食育を国民運動として推進するために6月を「食育月間」、毎月19日を「食育の日」と決めました。さらに、能登町独自の食育の日として、毎月19日を「家族団らん食育の日」とします。

親は仕事、子どもは部活や勉強。それぞれ忙しい毎日で、一緒に食事できない家庭が多くなりました。今や団らんの機会は、わたしたち一人一人が意識して作り出していくことが必要な時代です。

### 食育の主役は家庭 家族そろって楽しい食事を

「家族団らん食育の日」は①家族がふれあい、きずなを深める②食生活を見直し、食事について考える―ことを目的としています。

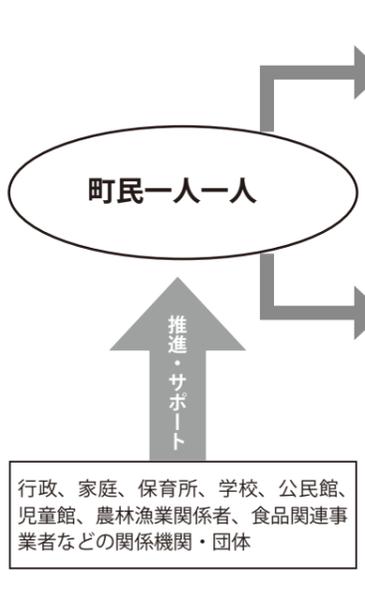
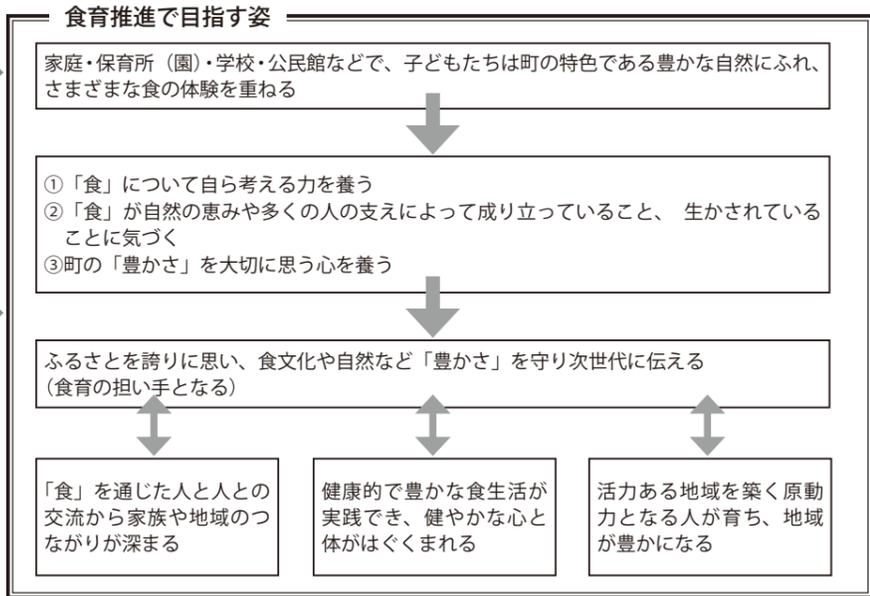
食育の主役は家庭です。まずは家族そろって楽しく食事することから始めませんか。おいしい食事と楽しい会話は、家族のきずなを深め、食生活を見直し、食育について考えるきっかけになります。毎月19日。家族団らんから家庭の食育を始めましょう。

毎月19日はまっすぐ帰宅 各家庭に合った食育に挑戦

仕事に追われていても、19日はまっすぐ帰宅しましょう。一人で食事をする人も仲間とふれあう時間を作りましょう。

- ・各家庭でできる食育の例として
- ・子どもと一緒に食事を作る
- ・町の伝統食を作る
- ・地元の食材を使う
- ・旬の食材を使った料理にする
- ・食事中はテレビを消して、いろいろな出来事を話す
- ・食事の順番を教える（バランスよく三角食べをする）
- ・箸の持ち方を確認する
- ・食器の持ち方や姿勢などに気をつける

家庭の中心であるお父さんや料理を作るお母さんがリーダーになって、各家庭に合った食育に挑戦してみてください。

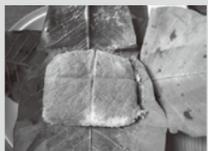


### 作って・食べてみよう！能登町ふるさと自慢料理

【レシピ1】  
ほおばめし（4人分）  
〈材料〉  
ごはん お茶わん4杯分  
きなこ 大さじ4  
砂糖 大さじ2  
塩 少々  
ほおばの葉

〈作り方〉①ほお葉二枚は表面が白い側を上にして、十字に重ねます。きな粉、砂糖、塩少々を混ぜたものをたっぷりのせます。  
②炊きたての熱いごはんを軽くのせます。  
③その上にきな粉をたっぷりのせます。内側のほお葉を折り込みきな粉をご飯になじませ形を整えます。  
④外側のほお葉も折り込みきな粉がはみ出さないようにワラなどのひもで、しっかり包みます。

〈言い伝え〉その昔、田植えが終わるとそのお祝いのごちそうとして食べられていました。きな粉が稲花粉に似ていることから豊作を祈り縁起かきで使われたとされる「ほおば飯」は、農家の人の思いが詰まった食べ物です。



写真提供：石窯のある食工房野の花 佐々木京美さん (http://www.ishigama.com/)

分類	番号	テーマ	内容	備考	講師	時間(分)
自然・環境・暮らし	39	ごみ分別について	広げようリサイクルの輪		環境対策課	60
	40	下水道のはなし	街と海、きれいに保つ下水道		上下水道課	45
	41	こうして届けられる能登町の水道水	浄水場の見学	能都・内浦・五十里	上下水道課	60
	42	地上デジタル放送について	地上デジタル放送の特徴やアナログ放送終了について		広報情報推進課	45
	43	生活と環境	環境問題について	一般	能登北部保健福祉センター	60
	44	暮らしと動物	動物由来感染症のはなし	一般	能登北部保健福祉センター	60
	45	環境・エネルギーについて			北陸電力(株)珠洲営業所	60
	46	雇用保険制度について			輪島公共職業安定所能登出張所	30
	47	能登町の自然	能登町の海の環境と生きものについて	小学生～一般	のと海洋ふれあいセンター	45
	48	よくわかる農業に関する安全性	農業の安全性や規制	派遣要請は早めに	北陸農政局	60・30
49	よくわかるBSEと鳥インフルエンザ	基本的内容や国内での取組	派遣要請は早めに	北陸農政局	60・30	
50	クロマルハナバチと農業の現状について		派遣要請は早めに	㈱能登町ふれあい公社	45	
防災・防犯	51	古い消火器は大変危険	消火器の廃棄、購入について	一般	能登消防署	60
	52	小さな火なら誰でも消せる	正しい消火器の取り扱い	一般(実技講習)	能登消防署	60
	53	地域ぐるみで消防	消火器、小型ポンプの取り扱いおよび訓練	一般(実技講習)	能登消防署	60
	54	地震発生!! その時どうする		防災知識講座	能登消防署	60
	55	あなたにもできる応急手当	傷病者の搬送など簡単な手当	一般(実技講習)	能登消防署	60
	56	消防署見学		一般	能登消防署	60
	57	普通救命講習会	AEDを用いた心肺蘇生法	一般(実技講習)	能登消防署	180
	58	住宅用火災警報器講座	火災から身を守るために	一般	能登消防署	60
	59	高齢者交通事故防止講座	交通事故に遭わない・起こさないために	派遣要請は早めに	能登警察署交通課	45
	60	振り込め詐欺被害防止講座	各種詐欺被害に遭わないために	派遣要請は早めに	能登警察署生活安全刑事課	45
	61	悪質商法あれこれ～次に狙われるのは私かも!?	高齢者編		ふるさと振興課	60
教養・趣味・スポーツ	62	石川の漁業	石川県の漁業と魚の紹介	派遣要請は早めに	石川県水産総合センター	45
	63	発酵食品の宝庫石川	伝統的水産発酵食品と新製品	派遣要請は早めに	石川県水産総合センター	45
	64	作ってみよう! イカとつくりづくり	海洋漁業科学館でイカとつくりづくり	来館体験(月曜除く)、入館料要	石川県水産総合センター	30
	65	能登町の定置網漁業	歴史と漁獲される魚	派遣要請は早めに	石川県水産総合センター	45
	66	能登町の魚「ブリ」のはなし	ブリの成長と回遊	派遣要請は早めに	石川県水産総合センター	45
	67	急潮のはなし	急潮発生のしくみと予測	派遣要請は早めに	石川県水産総合センター	45
	68	いか釣漁業の省エネルギー化	LED集魚灯利用による	派遣要請は早めに	石川県水産総合センター	45
	69	おいしい牛肉「能登牛」	能登牛の改良・増殖	施設見学	石川県能登畜産センター	40
	70	公民館・図書館のしくみ	見学講座	来館見学	宇出津公民館	45
	71	本の探し方講座	本の探し方、使い方の説明	来館見学	中央図書館	30
	72	絵本の読み聞かせ		幼児・小学低学年	柳田教養文化館	30
	73	絵本の読み聞かせ	読み聞かせ、パネルシアターなど		加夢加夢おはなし会	45
	74	縄文土器で塩づくり	縄文土器のレプリカを使って古代の塩づくりに挑戦	要教材費、要来館	のと海洋ふれあいセンター	90
	75	さわってみようパソコン! 見てみようインターネット	パソコン体験	来館実習 1回4～5人程度	能登広域勤労青少年ホーム	60
	76	私たちの文化遺産	真脇遺跡縄文館について	来館見学	真脇遺跡縄文館	60
	77	押し入れ望遠鏡再生講座	家庭にある望遠鏡の使い方	親子、一般	星の観察館 満天星	60
	78	まんてん仮面のうちゅうのおはなし	お話と工作など	詳細は応談、幼児・小学生	星の観察館 満天星	30
	79	伝統文化 和紙づくり	紙すき、人形、花、しおりなど作品づくり	来館実習(基本)	みわ会(小間生公民館)	半日
80	伝承娯楽「ごいた」	町文化財に指定の娯楽	小学生～高齢者	能登ごいた保存会	60	
81	能登町に眠る歴史文化の探訪	町は大きな博物館(奥能登トリビア蔵の説明)	スクリーン使用	民有「歴史文化」資産の保存活用を考える会	45	
82	健康の原点はウォーキングから	楽しむウォーキング	内容は相談	能登町スポーツ振興事業団	90	
83	楽しい体力づくり	ニュースポーツ、筋力トレーニング	内容は相談	能登町スポーツ振興事業団	90	
84	総合型スポーツクラブって何?	クラブ説明		能登町スポーツ振興事業団	60	
85	水中運動教室	プールで運動! 心も体もリフレッシュしませんか?	来館(平日のみ) 施設利用料有 内容・時間は相談	能登七見健康福祉の郷「なごみ」	45	

出前講座の申し込み・問い合わせは

**生涯学習推進本部(教育委員会)** 事務局内 ☎ 72-2509

分類	番号	テーマ	内容	備考	講師	時間(分)
行政・福祉	1	私のまちづくり	平成22年度の重点施策とその展望	日程調整が必要 申し込みは早めに	町長	45
	2	「能登町の未来を語る会」を出前します!		日程調整が必要	町長(担当課長ほか)	60
	3	身近な議会	町議会のしくみ		議会事務局	60
	4	役場の組織と役割	職場見学	来庁見学	総務課	45
	5	くらしの中の選挙	選挙の種類など		総務課	45
	6	進めよう町の改革	協働のまちづくり		総務課行財政改革室	45
	7	ふとこぐあいお見せします	町の財政事情	日程調整が必要	企画財政課	60
	8	助成金をもらってみよう!!	公益信託 能登町エンデバーファンド21の利用	申請書の書き方等	企画財政課	45
	9	町の税金あれこれ		内容は相談	税務課	45
	10	e-Taxでカンタン申告!	e-Taxを利用した申告・申請手続き	派遣要請は早めに	輪島税務署	適宜
	11	自主番組ができるまで	有線テレビ施設の見学(取材編集体験もできます)	来庁見学	広報情報推進課	適宜
	12	能登町バイオマスタウン構想とは	循環型社会の構築や地球温暖化防止のために	内容は相談	ふるさと振興課	45
	13	能登町まるごと観光	町内各地の見どころ		ふるさと振興課	60
	14	おしえて深層水	海洋深層水の特長		海洋深層水対策室	60
	15	窓口業務のあれこれ	住民登録や戸籍届出について		町民課	30
	16	知ってますか? 国民年金制度	国民年金の制度		町民課	60
	17	「能登町次世代育成支援計画」ってなあに?			健康福祉課	90
	18	老人福祉ってどんな制度			健康福祉課	45
	19	こんにちは 介護保険制度	その内容としきみ		健康福祉課	45
	20	元気なうちから介護予防		内容は相談	健康福祉課	60
	21	長寿医療制度について			健康福祉課	45
	22	障害福祉ってどんな制度			健康福祉課	30
	23	手話っち!	役立つ手話を覚えよう	実習あり 派遣日時は要相談	手話サークルこだま会	90
	24	あなたにもできる相続登記		派遣要請は早めに	金沢地方務局輪島支局	60
	25	境界争いの解決方法と筆界特定制度		派遣要請は早めに	金沢地方務局輪島支局	60
	26	戸籍の移り変わりとその見方		派遣要請は早めに	金沢地方務局輪島支局	60
	27	インターネットによる人権侵犯への対応		派遣要請は早めに	金沢地方務局輪島支局	60
	28	放牧場ってどんなところ?	乳牛の話や放牧の役割など	派遣要請は早めに	県農業開発公社内浦放牧場	45
健康・食品	29	予防接種のQ&A			健康福祉課	40
	30	生活習慣病を予防しよう		40～60歳代	健康福祉課	60
	31	骨まで愛して	骨粗しょう症予防	女性30～40歳代	健康福祉課	60
	32	新米ママの育児講座			健康福祉課	60
	33	郷土料理・伝承料理をアレンジしよう	楽しんでクッキング	調理実習あり	能登食生活改善推進協議会	90
	34	よくわかる食品安全の基礎知識	食の安全に関する基本的事柄	派遣要請は早めに	北陸農政局	60・30
	35	よくわかる食品の表示	生鮮食品、加工食品などの表示に関するルール	派遣要請は早めに	北陸農政局	60・30
	36	気をつけていますか毎日の食事	食事バランスガイドの概要	派遣要請は早めに	北陸農政局	60・30
	37	よくわかる食品情報～トレーサビリティ	トレーサビリティの具体的な内容や制度	派遣要請は早めに	北陸農政局	60
	38	よくわかる有害化学物質と食品安全(重金属編)	カドミウムやメチル水銀の話	派遣要請は早めに	北陸農政局	60

● **申し込みできるのは?**  
町内会や各種団体など、  
おおむね10人以上で構成されたグループ。  
● **派遣時間と場所は?**  
原則平日午前10時から午後9時までの2時間以内。  
派遣場所は町内に限ります。  
● **会場や場所の確保は?**  
会場の手配は申し込み側でお願いします。  
自宅でも結構です。  
● **講師料は?**  
原則無料。材料費などが必要な講座もあります。  
● **申込方法は?**  
電話で仮予約後、開催日の2週間前までに  
申込書を提出してください。  
● **申込書は?**  
教育委員会事務局・各庁舎サービス室・各支所・出張所・各公民館・町ホームページにあります。

**ご希望の  
時間・場所に  
講座を出前します。**

6月1日から  
注文受付開始



アユの放流  
**アユの放流を通して自然を学ぶ**

柳田河川漁業協同組合は、町野川の環境保全や魚の保護のために毎年アユを放流しています。5月11日は、柳田小学校4年生30人と一緒に重年地内で放流しました。

この日、石川県水産総合センター美川事業所から運ばれたアユは体長約10センチまで成長していました。到着したアユは組合員の手によって次々とバケツに分けられ、児童らに手渡されました。川岸に立った児童らは、元気に泳ぐアユに声を掛けながら放流。その後、組合員長の国盛孝昭さんに放流の感想を話し、アユに対する質問をしていました。



放流したアユを見守る児童

町長、家族と記念撮影する久田さん



久田とよさん 100歳  
**家族とともに迎えた満100歳**

久田とよさん（明治43年5月3日生まれ）＝宇出津＝が100歳の誕生日を迎え、5月6日に持木町長が久田さん宅を訪れました。持木町長が「いつまでも長生きしてください」と在宅長寿祝い金を手渡すと、久田さんは「ありがとうございます」と笑顔で受け取りました。

普段は居室でテレビを見て過ごし、週二回のデイサービスを楽しんでいるという久田さん。70歳ころまで毎朝4時に起きて豆腐を作っていたということです。足もしっかりしていて、玄関まで自分で歩いて持木町長を見送っていました。

赤崎いちごをおいしそうに食べる児童



宇出津小学校の給食に赤崎いちご  
**地元の特産品を味わいました**

5月20日、宇出津小学校の給食に採れたての赤崎いちごが登場しました。これは町の学校給食地場農畜産物利用拡大事業の一環で、月に一度町内の小中学校の給食に地場産物を提供するものです。5月は最盛期を迎えた赤崎いちご。今後はブルーベリーや海洋深層水トマト、冷凍スルメイカなどが登場する予定です。

この日は、石川県奥能登農林総合事務所の向安代主任技師が招かれ、赤崎いちごの特徴などが説明されました。児童らは真っ赤なイチゴをおいしそうにほおぼっていました。

小木とも旗祭り  
**9基のとも旗が大漁と安全を祈願**

石川県の無形民俗文化財に指定されている小木地区の春祭り「小木とも旗祭り」は、5月2日と3日に行われました。9つの町内が1カ月以上かけて制作する「とも旗」は高さ約20メートル。大漁と航海の安全を祈願する5文字が描かれています。

3日午後3時ごろには、御輿を乗せた御座船にとも旗が繋がれ小木港内をパレードしました。6月上旬、この小木港からイカ釣船団がスルメイカを求めて日本海へ出港していきます。



▲御輿は午前中から小木の町内を練り歩き、小木港に到着します



◀とも旗を引く曳船は、小木港のシンボルでもある中型イカ釣船

きき酒研究会  
**魂を込めた新酒の出来栄は**

能登杜氏組合能登町支部のきき酒研究会が5月20日、内浦スポーツセンターで行われました。きき酒は杜氏が精魂を込めて造った新酒を持ち寄り、杜氏全員で点数を付けます。今年は吟醸酒部門に37本、普通酒部門に23本出品されました。杜氏らは、ほかの杜氏が造った酒の香りや味を慎重に確かめていました。きき酒の結果は次のとおりです。吟醸酒部門：①宗玄（坂口幸夫）②常きげん（農口尚彦）③一乃谷（南山幸男）、普通酒部門：①都美人（山内邦弘）②竹生島（西尾幸弘）③竹葉（四家裕）



新酒の出来栄を審査する能登杜氏

ふれあい看護体験  
**笑顔でがんばった一日看護師**

公立宇出津総合病院のふれあい看護体験が5月11日に行われました。5月12日の看護の日に合わせて毎年実施されているこの看護体験。今年は能都北辰、能登青翔、飯田高校の3人が看護師の仕事を経験しました。

辞令交付式では小森院長が「専門の技術を持つ看護師の仕事を目で、心で感じてください」とあいさつ。辞令を受け取った3人は、指導にあたるベテラン看護師と一緒に病棟を回りました。検温や血圧測定など、笑顔を決やさず患者さんと向き合った3人。看護体験を通じて相手を思いやる心を学びました。



患者さんの心拍数を計る豊原常史さん（能都北辰高3年）

ヤマメを放流する能登高校生



能都ロータリークラブ環境保全活動  
**ヤマメが住める美しい河川を**

4月22日、能都ロータリークラブ会員30人と能登高校2年生13人が、宮地の山田川でヤマメの稚魚を放流しました。このヤマメの放流は、能都ロータリークラブが地域の環境保全活動の一環として行っていて、今年で26回目を数えます。能登高校生と一緒に放流するのは2年目。参加した高校生らは、生き物と触れ合える貴重な経験を通し命の大切さを実感していたようです。この日、能都ロータリークラブは山田川のほかに寺田川上流や矢瀨川などで合わせて5,000匹のヤマメの稚魚を放流しました。